

# オーラル・コミュニケーション I

(002東書・オI 020・ Hello there! Oral Communication I )

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接時数 **8**

## 1. 学習の到達目標と取り組み

目標	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
目標に向けての具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くこと、話すことの活動を多く取り入れながら、読むこと、書くことを含めた4つ領域の言語活動を、総合的・有機的に関連させて学習を進める。</li> <li>・中学校における基礎的な学習事項を整理して、コミュニケーション活動に必要な基本的な文型や文法事項の理解と実際の活用を図る。</li> <li>・コミュニケーション能力の向上を重視し、話題や対話の相手を広げたコミュニケーション活動を行う。</li> <li>・様々な言語の使用場面を経験しながら、英語を学ぶ楽しさに気づく。</li> </ul>

## 2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(領域)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を聞いて、情報や話し手の意向を理解したり、概要や要点をとらえたりすることを目標とする。</li> <li>・日常生活の身近な話題をくりかえし聞くことにより、内容の理解を深め、会話の流れや様々な口調、速度に慣れる。その際、リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえて、聞いた内容を正確に理解する。</li> </ul>	Lesson 1 Hello, Friends!	No.1	5/5	第1回 4/28 第2回 5/5	第1回 7/7 レポート No.1,2	レポート テスト・ 面接 授業を 通して、 観点別 に項目 を設け て、評 値する。
5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてメモをとるなど相手の話に関心を持ち、聞いたことについて簡単な言葉で応答する態度を育てる。</li> </ul>	Lesson 3	No.2	6/2	第3回 5/19 第4回 6/2	教科書 Lesson 1,3	
6月	対話すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりするなど、対話による言語活動に積極的、主体的に取り組むことを目標とする。</li> </ul>	What Are You Crazy About?	No.3	8/4	第5回 6/16 第6回 8/4	第2回 10/20 レポート No.3,4 教科書 Lesson 4,5	レポート テスト・ 面接 授業を 通して、 観点別 に項目 を設け て、評 値する。
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各 lesson の "Dialog" や "Try It Out!" で、日常生活の身近な話題についての言い回しや会話表現について学ぶ。</li> <li>・ペア・ワークやグループ・ワークで様々な表現を練習し、交互に話し手や聞き手として、相手に質問をしたり、相づちを打つなど会話が継続するように協力する。</li> </ul>	Lesson 4 A Friendly Potluck Dinner					
8月	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝えることを目標とする。</li> <li>・正しいリズムやイントネーションなどを用いて話すことができるように、単語や会話の音声練習を重視する。</li> <li>・間違ふことを恐れず、うまく言えないことがあっても別の語句や表現で言い換えたり、ジェスチャーなど非言語的な手段を用いてコミュニケーションを続けようとする姿勢を大切にす。</li> </ul>	Lesson 5 Are You All Right?	No.4	9/15	第7回 8/25 第8回 9/15	第3回 1/12 レポート No.5,6 教科書 Lesson 6,7	レポート テスト・ 面接 授業を 通して、 観点別 に項目 を設け て、評 値する。
9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表したり、また、発表されたものを理解することを目標とする。</li> <li>・各 lesson の "Communication Workshop" で、日常生活の身近な話題について情報を収集し、学んだ表現などを使って発表する練習をする。その際、場面や状況に応じた強勢やイントネーションにも配慮する。</li> </ul>	Lesson 6 Talking about Our Town	No.5	11/17	第9回 10/6 第10回 11/17		
10月	口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身や家族、友人など身近なものについて考えをまとめて簡単な英語で発表することにより、他者に発信することの楽しさを味わう。</li> <li>・必要に応じてメモをとるなど相手の話に関心を持ち、発表者の考えを理解しようとする態度を育てる。</li> </ul>	Lesson 7 Where Are You Now?	No.6	12/15	第11回 12/1 第12回 1/5		
11月								
12月								
1月								

\* 学習進度が早いので、注意してください。

## 3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現する。
理解の能力	日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようすることを理解する。
知識・理解	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通じて、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。